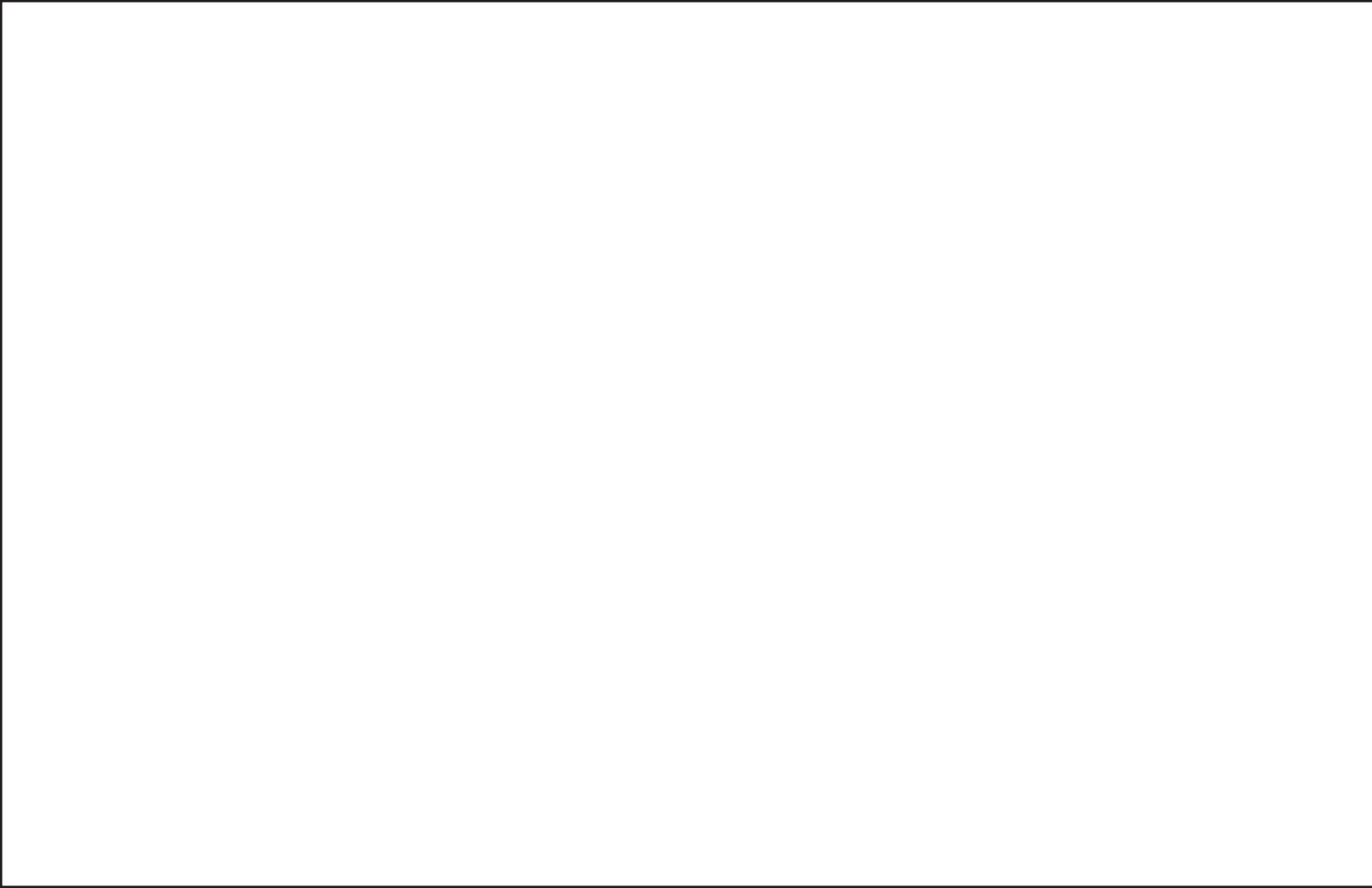


***Robot***<sup>®</sup>

**Roomba**<sup>®</sup>

ロボット掃除機 ルンバ<sup>®</sup>

900 シリーズ  
取扱説明書



## 安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や物的損害（ロボット本体および付属品を含む）を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

表示について



「人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの」を示します。



「人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの」を示します。

図記号について



この行為は、禁止されています。



この行為を、必ず実行してください。



この行為は、注意が必要です。

注意

- ・ 万一、製品から煙がでたり、変なにおいがしたり、製品が過熱したときは、ただちに使用を中止してください。発火・感電の原因になります。

- ・ 製品からバッテリー・乾電池を取り外してください。

- ・ 煙がでなくなったことを確認し、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。お客さまによる修理は、危険ですから絶対におやめください。

- ・ 電源コードは本製品以外に使用しないでください。

ロボット本体・付属品



- 火気のある場所、ストーブなど高温になる機器の周辺、引火性の高いものの近くで使わない、バッテリーを装着したままで可燃性スプレーを使わない。爆発や発火の原因になります。



食用油や機械油を吸わせない発火や故障の原因になります。



分解・修理・改造・変更をしない発火・発熱・感電・けがの原因になります。



重いものを載せたり、投げたりしない故障の原因になります。



充電直後は、ロボット表面の端子に触れないやけどの原因になります。



濡れた手で触らない感電の原因になります。



濡れる場所に置かない、濡れる場所で使用しない感電や発火の原因になります。



水洗いしない、濡らさない感電や発火の原因になります。



雷が鳴ったら、電源プラグに触らない感電の原因になります。



高いところや不安定なところで使わない落下による、けがや故障の原因になります。



ロボットの排気口をふさがないロボットの变形や発火の原因になります。



ロボットの排気口から金属や燃えやすい異物などを入れない感電・発火・故障の原因になります。



子供やペットの近くでロボットを使わないけがの原因になります。



故障や異常があるときは使用しない感電・発火・更なる故障の原因になります。



電源コード、ホームベース、電源プラグを破損しない無理に曲げる、引っ張る、重い物を載せるなどの行為により破損すると、感電・発火の原因になります。



お手入れの際は、必ず電源を切る



お手入れの際は、指をはさまれないように注意する



ブラシやフィルターは、ロボットの純正品を使用する



家庭用のコンセント（交流100V）で使用する



電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持つ



動作中はロボットの裏面に触れない



センサー、バンパー、車輪にシールやテープを貼らない

バッテリー・乾電池



分解・改造・変更をしない液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



火中に投げない、加熱しない液漏れや爆発の原因になります。



バッテリーの端子部を金属などで接続しない液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



水洗いしない、濡らさない感電や発火の原因になります。



液漏れしたときは、素手で触らない液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。



ルンバ純正のバッテリーを使用する液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

## 使用上のご注意

ルンバは一般家庭用の製品です。ほかの用途にはご使用になれません。ルンバを快適に、より安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

### 使用できない場所

傷みやすい敷物や床材、壁材

- ・毛足の長いカーペット
- ・デリケートなカーペットやムートン、フェルト素材の敷物
- ・柔らかい材質や黒および濃い色のフローリング床面
- ・ワックス塗られて、またはフロアコーティングをしたフローリング床面（ご使用前に施工業者にご相談ください）
- ・デリケートな建材（漆喰やけいそう土などの塗り壁）

ロボットが故障しやすい場所

- ・毛足の長いカーペットの上、ふとん、毛布、マット、ベッド
- ・高く不安定な場所、風呂場などの濡れた場所
- ・ストーブなど高温になる機器の周辺
- ・タイル張りの床、大理石等の石材の床、コンクリートの床、屋根裏、石畳、屋外、倉庫、工場

ロボットが落下する恐れのある場所

- ・吹き抜けに面し、ロフト、スキップフロア、キャットウォーク、階段、踊り場など
- ・急勾配の階段
- ・テーブルの上など狭くて高い場所など

### 事前に準備（片づけ、移動）が必要なものや場所

安全かつ快適にご使用いただくためのご注意として清掃の前に、壊れやすい物、吸い込まれると困る物は片づけてください。

とりわけ、スケジュール機能やホームアプリなどを使用して外出時に清掃を行う場合は、入念に事前準備を行ってください。

保護する必要があるもの（ロボットが振動を与えたり接触する可能性があります）

- ・漆塗りなど傷のつきやすい光沢のある家具や置き物、屏

風など

- ・軽い振動で倒れたり壊れたりしやすい陶磁器類、ガラス工芸品類、瓷具など
- ・机や台などが受けた軽い振動により、破損や落下する恐れのある陶磁器類など
- ・吸い込まれやすいもの（アクセサリなど）

移動する、片付ける必要があるもの

- ・水、油（食用油、機械油など）、揮発性の高い液体類（アルコール、ベンジン、ガソリンなど）を含むすべての液体  
→片づけてください
- ・ストーブ  
→移動してください。ロボットが接触して、機器の向きが変わったり、倒れたり、操作部が押されることで、火災や破損につながる可能性があります
- ・電気ストーブ、扇風機などの電化製品  
→電気コードを抜いて移動してください  
ロボットが衝突して機器が移動・転倒し、火災や破損につながる可能性があります
- ・ペットなどの排泄物  
→片づけてください
- ・電気機器やパソコンのコード  
→絡まないようにまとめてください
- ・カーペットやマットの端の長い房など  
→内側に折り込んでください
- ・床につくほどの長いカーテン  
→持ち上げてまとめてください
- ・床面近くに操作部のある機器  
→移動してください  
ロボットが当たって機器の操作部を押すことがあります
- ・タバコ、ろうそく、線香などの火気  
→片づけてください
- ・粘着性のあるもの（粘着式の害虫駆除シートなど）  
→片づけてください
- ・布団、座布団、クッションなど  
→片づけてください
- ・書籍、冊子、雑誌など  
→片づけてください

### 落下防止のための注意が必要な場所

- ・階段、踊り場、玄関の上がかりかまなど

上記のような段差のある場所では、パーチャルウォールま

たは物理的な障害物を設置してください。

ロボットの動作を妨げる場所

- ・高さ10cm未満の狭い場所を、ロボットは走行できません。ロボットの通路をふさぐものを、あらかじめ移動させてください。
- ・床の敷居や段差などは、高さによりロボットが乗り越えられない可能性があります。走行中に引っかけってしまう場合には、ロボットが入り込まないように準備してください。
- ・床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。

その他、使用上の注意として、お留守の時にセキュリティシステムが稼働している状態では、清掃中のロボットが「侵入者」と認識され、セキュリティシステムが作動してしまいますので、ご使用はお控えください。

ホームベース・パーチャルウォールを直射日光が当たる場所に配置しないでください。

### バッテリーの正しい使いかた

ロボットは内蔵されたバッテリーで動作します。使いかたを誤ると、バッテリーの寿命が大幅に縮んだり、バッテリーが破損することがありますので、以下をよくお読みになり、バッテリーを正しくお使いください。

- 注意** 次の行為は、バッテリー破損の原因になります
- ・落下などにより強い衝撃を与える
  - ・電源コンセントに接続されていないホームベースに、ロボットを接続する
  - ・ホームベースに接続せず、バッテリーをロボットに入れたまま1週間以上放置する
  - ・取り外したバッテリーを、3ヶ月以上放置する
  - ・直射日光が当たる場所や高温の場所に、バッテリーを放置する

**注意** 充電開始後は、バッテリーアイコンが緑色に点灯するまで中断せずに充電してください。

- ・充電中に、本体裏面バッテリー格納部周辺が熱くなることがあります。そのようなときは、十分に冷めるまで待つてから、ロボットを使用してください。
- ・使用頻度が著しく低い場合、バッテリーの寿命を縮める原因になります。少なくとも1週間に一度使用するか、充電

してください。1週間以上使わないときは、バッテリーを十分に充電した後に取り外し、冷暗所で保管してください。

- ・ロボットの電源が切れていてもバッテリーは少しずつ消費され、数日でバッテリー切れになります。充電せずに1週間以上放置すると、バッテリーが過放電（バッテリーあがり）を起こし、寿命が短くなったり破損したりします。
- ・ロボットをご使用にならない場合でも、常に充電してください。

- ・充電せずに長時間放置したときは、過放電によりバッテリーが破損している可能性があります。
- ・バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください。安全のため、端子部が隠れるようにセロハンテープなどを貼ってください。お問い合わせ：JBRChttp://www.jbrc.com/



### 電波に関するご注意

- ・製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- ・以下の機器や無線局は、一部製品に搭載されているものと同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。
  - ・産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
  - ・免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
  - ・免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
- ・以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- ・心臓ペースメーカーなどの医療用機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- ・特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください。

### iRobot Home アプリ 設定時のご注意

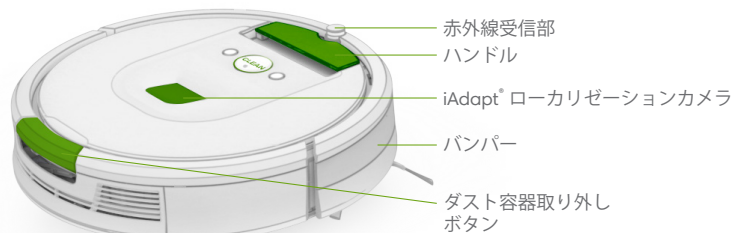
- ・ロボットが接続可能なWi-Fi周波数は、2.4GHz帯のみです。iRobot Home アプリ接続時に2.4GHz帯のネットワークを選択してください。

# 目次

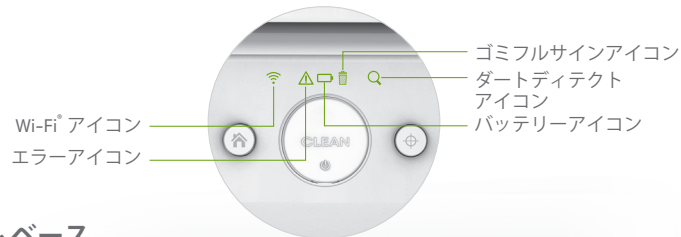
安全上のご注意 .....	i
ルンバ 900 シリーズの名称 .....	2
はじめに .....	3
付属品 .....	4
ルンバのお手入れ .....	5
困ったときは .....	9
ユーザー登録する .....	10
アイロボットサービスセンター .....	10

# ルンバ 900 シリーズの名称

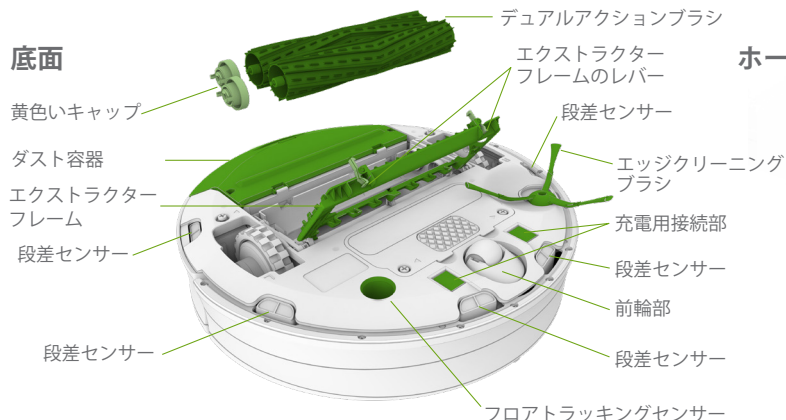
## 天面



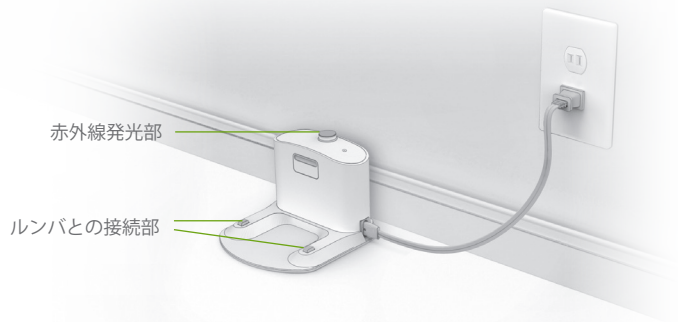
## ボタンとアイコン



## 底面



## ホームベース



# はじめに

## ホームベースを設置する

ホームベースは障害物のない広い場所の壁に沿って設置してください。ホームベース周辺には以下の空間を取っていただくことをおすすめします。

- ホームベース両脇に 0.75 メートル以上
- ホームベース前方に 2 メートル以上、階段などの段差との間に 2 メートル以上
- バーチャルウォールから 3 メートル以上

ホームベースは常に電源に接続してください。また、iRobot Home アプリでルンバを操作する際は、ホームベースを Wi-Fi の電波が安定している場所に設置してください。


## iRobot Home アプリをダウンロードして、ルンバをご自宅の Wi-Fi ネットワークに接続する


- スマートフォンやタブレットから、ルンバの使い方やアプリの使い方を確認することができます
- 清掃開始時間のタイマー予約や、清掃モード設定のカスタマイズができます
- ルンバのソフトウェアを自動でアップデートします
- 便利な使い方や、よくあるご質問と回答を検索できます





## ルンバを使う

- ルンバを裏返して、保護紙と絶縁シートを取り除きます。ルンバをホームベースの上に置いて起動させます。
- ルンバが起動したら、清掃を開始できます。

 **メモ:** ルンバは出荷時に一部充電されていますが、十分に充電されていない場合、清掃時間が短くなることがあります。はじめて清掃する前に、ルンバをホームベースで約 3 時間充電してください。

 **メモ:** 清掃を開始する前に、床の上を片付けてください（衣類、玩具など）。床をきれいに保つため、ルンバは定期的にご使用ください。

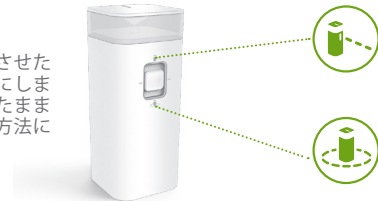
- ルンバは清掃が完了するか、清掃中にバッテリー残量が少なくなるとホームベースに戻って充電します。清掃を中断してホームベースに戻った場合、メロディー音は鳴りません。また、CLEAN ボタンとバッテリーアイコン (  ) が点滅します。
  - 充電が完了すると、ルンバは自動的に清掃を中断した場所へ戻り、清掃を再開し、完了させます。
  - iRobot Home アプリから、ルンバの現在の状態を確認することができます。
- 清掃がすべて完了してからホームベースに戻った場合、ルンバは清掃が正常に完了したことをメロディー音でお知らせします。
- 清掃中にルンバを一時停止するには、CLEAN ボタンを押します。
- 清掃を再開するには、再度 CLEAN ボタンを押します。
- 清掃を終了し、ルンバをスタンバイモードにするには、ランプが消灯するまで CLEAN ボタンを押し続けます。
- 清掃中にルンバをホームベースに戻すには、本体の CLEAN ボタンを一度押してから、 (DOCK) ボタンを押します。

## 付属品

- ゴミが多い場所では、ルンバは前後に動いてそのエリアを重点的に清掃します。ルンバがこの動作をしているときは、ダートディテクトアイコン (Q) が点灯します。
  - スポットモードを使用するには、ルンバをゴミの上に置き、⊕ (SPOT) ボタンを押します。スポットモードでは、ルンバは直径約1メートルの範囲を集团的に清掃します。まず、中心から外方向にグルグルと円を描きながら清掃し、さらに内方向に清掃しながら開始した場所に戻ります。
  - ルンバのダスト容器がいっぱいになるとゴミフルサインアイコン (M) が点灯します。初期設定では、ゴミフル時も清掃を継続するように設定されています。iRobot Home アプリの清掃モード設定 (S) から、ゴミフル時の動作を変更することができます。
    - » 清掃開始時点でダスト容器がいっぱいになっている場合、ダスト容器を空にするまでルンバは清掃を開始することができません。ダスト容器を取り外してゴミを捨ててから、CLEAN ボタンを押して清掃を開始してください。
- メモ**：清掃後は毎回ダスト容器を空にして、必要に応じてフィルターを清掃してください。
- ルンバをホームベースに設置しておくと、常に充電され、必要な時にいつでも清掃が開始できます。節電のため、ルンバの充電開始から60秒後にすべての表示ランプが消灯します。バッテリーの充電状態を確認するには、一度CLEAN ボタンを押してバッテリーアイコンを点灯させてください。バッテリーが充電中のときにはバッテリーアイコンがオレンジ色に点滅し、充電が完了すると緑色に点灯します。充電状態はiRobot Home アプリでも見ることができます。
  - ホームベースに長期間接続しない場合は、ルンバからバッテリーを取り外し、本体とバッテリーを湿気のない涼しい場所で保管してください。

### デュアルバーチャルウォール® (全900シリーズ対応)

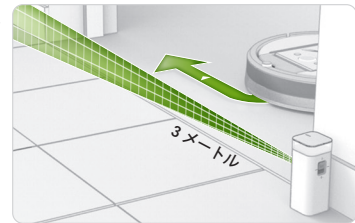
デュアルバーチャルウォール®は、清掃させたくない場所にルンバが立ち入らないようにします。ご使用しない時も、本体を動作させたまま床に置いておくことができます。ご使用方法に合わせ、2つのモードから選択できます。



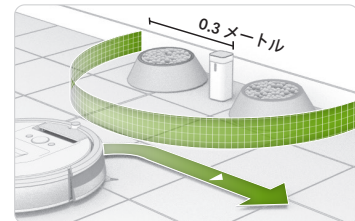
**メモ**：電池の寿命は、通常使用で約8～10か月です。バーチャルウォール®を長期間使用しない場合は、スイッチを必ず中央の位置 (オフ) にして保管してください。

バーチャルウォールモード：スイッチを上 の位置 (I) に合わせると、バーチャルウォール機能が有効になります。最大3メートルのルンバにしか見えない壁が作られます。

**メモ**：この見えない壁は、本体から離れるほど幅が広がります (イラスト参照)。



ヘイローモード：スイッチを下 の位置 (II) に合わせると、ルンバが進入できないエリアが作られます。保護したい物 (ペットの餌入れなど) にルンバがぶつからず、望まない場所 (部屋の角や机の下など) を通らないようになります。ルンバが進入できないエリアは、半径約30センチメートルです。






# ルンバのお手入れ

ルンバの清掃能力を最適に保つために、定期的にお手入れしてください。ルンバの吸引力が低下したら、ダスト容器を空にして、フィルターやデュアルアクションブラシを清掃してください。

使い方の解説動画は、iRobot Home アプリからご覧いただけます。ロボットの吸引力が低下したら、ダスト容器を空にして、フィルターやブラシを清掃してください。

パーツ	お手入れの頻度	交換時期の目安*
ダスト容器	使用後毎回	
フィルター	週1回(ペットがいるご家庭では週2回)を目安に清掃します。洗わないでください。	2か月ごと
ゴミセンサー	2週間に1回を目安に清掃する	
前輪部	2週間に1回を目安に清掃する	12か月ごと
エッジクリーニングブラシとデュアルアクションブラシ	月1回(ペットがいるご家庭では月2回)を目安に清掃する	12か月ごと
各種センサー、カメラウィンドウ、充電用接続部	月に1回を目安に清掃する	

 **メモ:** アイロボットの製品にはさまざまな部品があります。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでご連絡ください。

\*使用状況により、交換時期の目安は異なります。摩耗した場合は部品を交換する必要があります。

## ダスト容器を空にする

- 1 ダスト容器取り外しボタンを押して、ダスト容器を取り外します。



- 2 吸引口のフタを開けて、ダスト容器を空にします。

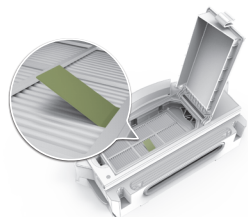


**メモ**：清掃中にゴミフルサインアイコン (🗑️) が点灯した場合は、清掃を中断してダスト容器を空にし、その後清掃を続けることができます。

ダスト容器がいっぱいになっていない状態で、ゴミフルサインアイコン (🗑️) が点灯する場合は、ゴミセンサーのお手入れの項目をご参照ください。

## フィルターを清掃する

- 1 タブをつまんでフィルターを取り外します。



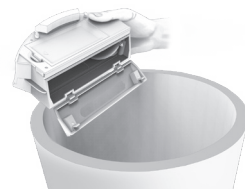
- 2 ゴミ箱の上でフィルターをはたき、ゴミを落とします。



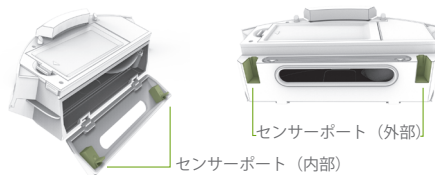
**!** **注意**：フィルターが取り付けられていないと、フィルターケースのフタは閉まりません。タブを上にしてフィルターを取り付けてください。吸い込む力が弱くなったときは、フィルターを交換してください。

## ゴミセンサーのお手入れ

- 1 ダスト容器を取り外し、ゴミを捨てます。

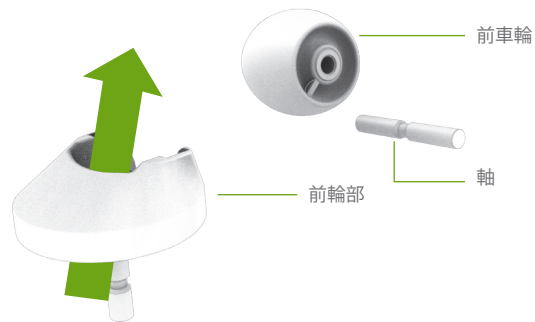


- 2 センサーポートを乾いた清潔な布で拭きます。



## 前輪部のお手入れ

- 1 ルンバの前輪部をつまみ、本体から引き抜きます。
- 2 本体側のくぼみの中のゴミを取り除きます。
- 3 前車輪を手で回します。うまく回らない場合は前車輪を取り外し、軸を強く押し抜きます。そして、軸に巻き付いているゴミや髪の毛を取り除いてください。
- 4 ゴミが取れたら、すべての部品を元に戻します。前車輪を戻す際には、カチッと音がするまできちんとはめ込んでください。



**注意**：前輪部に髪の毛やゴミが絡まっていると、床を傷つける可能性があります。

## エッジクリーニングブラシのお手入れ

- 1 プラスドライバーを使ってネジをゆるめます。
- 2 エッジクリーニングブラシを取り外して清掃し、元に戻します。



## 各種センサーと充電用接続部のお手入れ

- 1 各種センサーを乾いた清潔な布で拭きます。センサーには洗剤液などを直接噴きつけないでください。



- 2 ルンバの充電用接続部とホームベースの接続部を、乾いた清潔な布で拭きます。

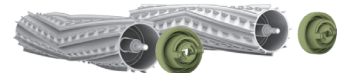


## エクストラクターのお手入れ

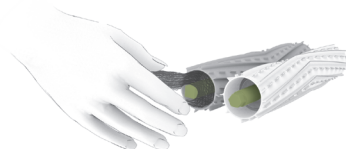
- 1 エクストラクターフレームの黄色いレバーを内側に寄せ、フレームを持ち上げて、異物を取り除きます。



- 2 デュアルアクションブラシを取り外し、エクストラクターの黄色いキャップを取り外します。キャップの内側や軸の周りから髪の毛やゴミを取り除き、キャップを元に戻します。

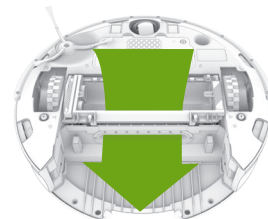


- 3 各デュアルアクションブラシの端にある四角形と六角形の軸の周りにたまっている髪の毛やゴミを取り除きます。



- 4 吸引口を清掃します。

- 5 デュアルアクションブラシを元に戻します。デュアルアクションブラシの軸の色と形を、本体側に描かれたイラストの色と形に合わせてください。



# 困ったときは

何らかの異常や特殊な状況が発生すると、ルンパはエラー音とメッセージでお知らせします。また、エラーアイコン (▲) が点滅します。エラーとその対処方法に関する詳細や動画などは、iRobot Home アプリやオンラインでご確認いただけます。エラーメッセージの内容に応じて対処しても解決しない場合は、<https://www.irobot-jp.com/support/> をご覧ください。

## ルンパをリセットする

エラー内容によっては、ルンパをリセットすることで問題が解決することがあります。ルンパをリセットするには、CLEAN ボタンを 10 秒間押し続け、すべてのアイコンが点灯したら指を放します。CLEAN ボタンから指を放すと、正常にリセットされたことをお知らせするメロディー音が流れます。

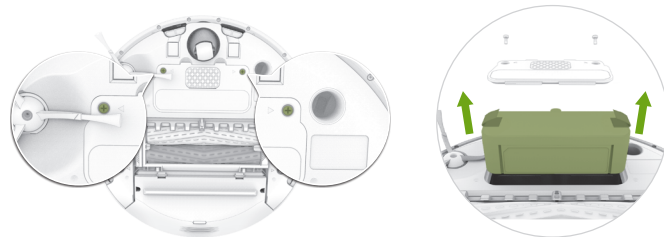
**メモ：**ルンパのタイマー予約機能をご使用の場合は、リセット後に iRobot Home アプリを開いて、タイマー予約がきちんと残っているか確認してください。

## リチウムイオンバッテリー

安全にご使用いただくため、ルンパに付属している iRobot リチウムイオンバッテリーのみをご使用ください。iRobot リチウムイオンバッテリー以外のバッテリーで動作させた場合、性能が著しく制限されます。

**注意：**リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品（バッテリーを内蔵したものを）、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、以下の手順に従う必要があります。

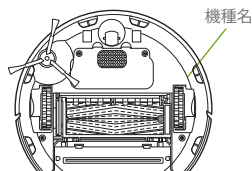
- 製品からリチウムイオンバッテリーを取り外します。バッテリーを取り外す手順については、<https://www.irobot-jp.com/support/> をご覧ください。
- バッテリーの金属製の端子部が隠れるようにセロハンテープなどを貼り、絶縁します。
- テープを貼ったままの状態でのバッテリーを製品に戻し、バッテリーカバーをしっかりと閉じます。
- 購入時に製品が入っていた梱包箱か、ご自分で用意した梱包箱（輸送中に製品が動かないもの）に製品を入れます。
- 輸送される場合は陸送をご使用ください（航空輸送不可）。



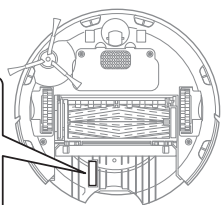
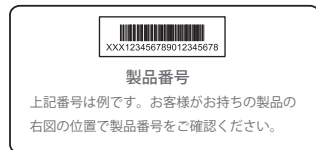
# ユーザー登録する

ユーザー登録に、お客様の製品番号が必要となります。  
製品番号とモデル名は、下記手順にてご確認ください。

- 1** お買い上げのルンバ®の機種名を確認する  
ルンバ®には、複数の機種があります。  
ルンバ®の裏面で機種名をご確認ください。



- 2** お買い上げのルンバ®の製品番号を確認する  
ルンバ®本体裏面（ダスト容器を外すと見えます）  
に記載された製品番号をご確認ください。



確認が完了しましたら、下記サイトにてユーザー登録をお願いします。

<https://www.irobot-jp.com/>

# アイロボットサービスセンター

ロボット掃除機ルンバに関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

<https://www.irobot-jp.com/>では、使用方法やよくあるご質問、付属品などに関する情報をご案内しております。この情報は、iRobot Homeアプリからもご覧いただけます。さらなるサポートが必要な場合は、当社のアイロボットサービスセンターまでお電話ください。

## アイロボットサービスセンター

- TEL:0120-046-669 (通話無料)
- 受付時間 9:30~17:30 (月~日曜日及び祝祭日)
- 注意: 修理のために交換した部品・付属品および製品は、弊社で引き取らせていただきます。製品を使用したことによって発生した損害については、製品の性質上、責任を負いかねます。製品は日本仕様です。日本国外で使用された場合、責任を負いかねます。
- 上記電話番号は、携帯からもご利用いただけます。
- 午前中は大変混み合いますので、比較的つながりやすい午後におかけください。
- 年末年始、ゴールデンウィークはお休みさせていただきます。また弊社都合によりお休みさせていただく場合がございます。予めご了承ください。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、次の目的で利用させていただきます。お問い合わせへの対応、アフターサービスの提供、製品およびサービスの品質向上のアンケート、キャンペーンその他イベントの案内(ダイレクトメール、電子メールを含みます)。詳細は <https://www.irobot-jp.com/policy/> をご確認ください。

# **iRobot**

©2021 iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730. All rights reserved. iRobot、iRobot ロゴ、アイロボット、Roomba、ルンバ、iAdapt、Home Base、ホームベース、Virtual Wall、バーチャルウォール、Dirt Detect、ダートディテクトは iRobot 社の商標または登録商標です。App Store は米国および他の国々で登録された Apple, Inc. の商標です。Google Play は Google, Inc. の商標または登録商標です。Wi-Fi および Wi-Fi ロゴは Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

米国特許 [www.irobot.com/patents](http://www.irobot.com/patents) | 追加登録申請中 WC:4597997 vE

